

# Aikou

2021年11月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

## 「人の生の声を聞く」

園長 土肥 聡

「子守歌」、懐かしい響きの言葉ですね。日本には「ねんねん、ころりや」と、母親が子どもを寝かせるときに歌った子守歌がありました。ある人が、「子どもを寝かせるときに子守唄や音楽を聴かせていますか」というアンケートをしたそうです。全く歌わないと、音楽を聴かせないが多数で、音楽を聴かせる中に、スマホーを利用するという回答が複数あったそうです。このアンケートをした人は、「人の生の声」によって子どもに接してほしいと言っています。

肉声による声や歌は感性の育ちに大きく関係しています。赤ちゃんは母親の胎内にいるときから声を聞いています。母親がゆっくりした気持ちで鼻歌を口ずさんだり、歌に合わせてお腹をさすったりすると、胎児は安らかな気持ちになるのです。生まれてからも同じで、お母さんの柔らかな声が心の安定剤になります。その母親の声を子どもが聞きながら、愛情と信頼を深めるのではないのでしょうか。

「羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。羊はその声を知っているので、ついて行く」

(ヨハネによる福音書 10: 3～4)

## 「散歩」

アドバイザー 横江 栄子

数日前、あまりの「秋晴れ」、久しぶりに主人と散歩に出かけました。金沢生まれの私と大阪生まれの主人はまず浅野川べりを歩き始めました。きれいに澄んだ水、川辺にはススキの穂が揺れています。

久しぶりにゆっくりした気持ちで歩きました。しばらく歩いていると、以前勤めていた幼稚園の卒業生が開いている料亭があったり、浅野川の大橋を渡って散歩を楽しみました。

東山のあたりは観光客が多く金沢が観光地として賑わっているのが分かりました。

子どもたちも散歩が大好きで色んな発見があるようですが、私たちも散歩することで「解放感」を味わい、また気持ちを新たにすることができることを改めて感じました。

今年も残り少なくなりました。「今」を大切に過ごしたいとの思いが強くなりました。

# クラススケッチ

## すみれぐみ

10月の運動会後に2名増えて、ますます賑やかで元気いっぱいすみれ組です！園生活にすっかり慣れたこどもも友達の名前も覚えよぶ様子が見られます。友達が風邪でお休みだったとき「せんせい、〇〇ちゃんきょうくる！」と、気の合う友達も見つけています。お部屋では好きな遊びを見つけています。発達年齢においても一人遊びを十分に楽しむ時期です。でもその中でもおもちゃの取り合いなど小さなトラブルは毎日のように生じます。集団の中でこそ友達とのかかわりを通して、教師が言葉で仲介をして互いに心を通わせながら大切な時間を過ごしていきます。11月は衣服を調節しながら、秋晴れの日はお散歩を十分楽しみたいですね。

土肥 ミチ子



## ぼらぐみ

運動会を終えてからも公園に出かけると大型遊具を船に見立てて乗り込んだり、かいぞくダンスをたんぽぽ組さんやゆり組と一緒に踊ったりして楽しみました。

心待ちにしていた遠足では、お天気にも恵まれ体いっばいに自然を感じてきました。広々とした開放感に次から次へと坂道をコロコロ……ダイナミックに芝生の坂道を転がって「おいもみたい～！」と大笑いでした。手作りの「秋の宝ものバック」も持っていき、真剣に地面を見つめる姿もありました。

今年はゆり組さんと一緒にお芋ほりにも出かけることができました。はやく食べたくて仕方ない様子の子もいました♪「ツルの綱引き大会」ではかいっばい引っ張ってぶちんと切れてしまう場面も！「としん」とついた尻もちも良い経験となりました。

北村

## たんぽぽぐみ

10月は運動会や遠足、大きな行事がありました。運動会はダンス「♪ロケットペンギン」が大好きになり、毎日「せんせい、きょうペンギンおどる？」と楽しみにしていた子どもたち。当日は普段通りの子どもたちを見ていただくことが出来たと思います。運動会が終わってからは、天気の良い日にはたくさん出掛けました。公園では落ち葉や木の実を探しながら過ごすことが増えてきました。その姿から遠足では「たからものバック」を作って持って行くことにしました。「どんぐりやまつぼっくりを集めよう！」と話しながら楽しみに公園に行き、まつぼっくりや落ち葉をたくさん集めて帰ってきました。秋の自然をたくさん感じながら過ごした1日になりました。11月もたくさんの秋を見つけながら過ごしていきたいです。

氣谷 彩子

## ゆりぐみ

運動会を通して仲間と力を合わせるこの楽しさを感じ、一人ひとりも自信がついてきました。しかし、ゆり組だけの芋ほり遠足と思っていたのに、今年はぼら組も行くというのです。「何で？」と残念さや悔しさなど複雑な気持ちで出掛けました。お芋が折れないように慎重にお芋に沿って砂をかき分けて掘るのは大変です。収穫を喜びながら「ぼら組さんもいて良かったね」と言葉が出てきました。

さあ、ここからはゆり組のお仕事です。お芋を大中小に分けて、大きさにグループで数えます。1本ずつ並べたり、10の山を作ったりと考えを出し合いながら数えました。合わせて約300本、大豊作です。今度は全園児分の持ち帰りセット作りです。「すみれさんも喜んでくれるかな」「ぼら組さん手伝ってくれたからおまけしてもいい？」と自分たちが掘ってきたお芋を持って帰ってくださることを喜びながら、ゆり組のお仕事をやり遂げ、また一つ大きくなったゆり組でした。

富樫 立子

## えんぞく（奥卯辰山県民公園）



## いもほり（ゆり組・ぼら組）

